



五中だより

令和 7 年 9 月 1 日
小平市立小平第五中学校
校長 伊藤 克行
小平市小川町 1 - 7 9 8

戦後 80 年の節目に、平和を創る「One Voice」を

校長 伊藤 克行

暦の上では秋を迎えましたが、まだ暑さの残る毎日が続いています。生徒の皆さんは、充実した夏休みを過ごせたでしょうか。さて、今年、2025 年は、第二次世界大戦が終わりを告げてから 80 年という、私たち日本人にとって大きな節目の年にあたります。

夏休み中、テレビや新聞などで広島の平和記念式典の様子を目にした人も多いでしょう。私も、式典で述べられた地元の小学生、関口千恵璃さん、佐々木 駿さんによる「平和への誓い」に、胸を打たれました。今回はそのメッセージを紹介しながら、「平和」について考えてみたいと思います。

二人の小学生は、こう語りかけました。

いつかはおとずれる、被爆者のいない世界。

同じ過ちを繰り返さないために、多くの人が事実を知る必要があります。

(中略)

どんなに時が流れても、あの悲劇を風化させず、記録として被爆者の声を次の世代へ語り継いでいく使命が、私たちにはあります。

戦争を体験した方々から直接お話を聞く機会が少なくなっている今、この言葉は、戦争を知らない私たち世代に重く、そして確かに響きます。80 年前、この国で何が起こったのか。当たり前の日常が、一瞬にして消え去ってしまった悲劇の事実を知り、語り継いでいくことは、未来を生きる私たちの大きな使命です。目を世界に転じてみましょう。「平和への誓い」はこう続きます。

世界では、今もどこかで戦争が起きています。

大切な人を失い、生きることに絶望している人々がたくさんいます。

遠い国の出来事だと、どこか他人事にしてしまうかもしれません。しかし、ニュースで映し出される光景は、80 年前にこの日本で起こった悲劇ではありません。大切な家族や友人を失い、住む家を追われる人々の苦しみや悲しみに、国境はありません。

では、私たち中学生に何ができるのでしょうか。そのヒントもまた、「平和への誓い」の中にありました。

多様性を認め、相手のことを理解しようとする事。

一人一人が相手の考えに寄り添い、思いやりの心で話し合うことができれば、傷つき、悲しい思いをする人がいなくなるはず。

周りの人たちのために、ほんの少し行動することが、いずれ世界の平和につながるのではないのでしょうか。

「平和」とは、決して大きな、難しいテーマではありません。私たちの毎日の生活の中にこそ、平和の種はあります。クラスメイトとの対話、部活動での協力、相手の意見に耳を傾ける姿勢。互いの違いを認め、尊重し、思いやりの心をもって接すること。それこそが、私たちが実践できる、平和への確かな一歩です。最後に、私が最も心を動かされた言葉を紹介します。

One voice.

たとえ一つの声でも、学んだ事実に思いを込めて伝えれば、変化をもたらすことができるはずです。大人だけでなく、こどもである私たちも平和のために行動することができます。

皆さん一人ひとりが持つ「声（voice）」には、世界を変える力があります。いじめや偏見に対して「おかしい」と声を上げる勇気。困っている友人に「大丈夫？」と寄り添う優しさ。その一つひとつの声が集まった時、それは平和を創り出す大きな力となるのです。

戦後 80 年の節目にあたり、世界で唯一の戦争被爆国に生きる私たちとして、戦争の悲劇を二度と繰り返さないという強い意志を持ってほしい。そして、五中の生徒一人ひとりが、未来を創る希望の「One voice」となってくれることを心から願っています。

平和への誓い （平和記念式典で地元の小学生が述べた全文）

いつかはおとずれる、被爆者のいない世界。
同じ過ちを繰り返さないために、多くの人が事実を知る必要があります。

原子爆弾が投下されたあの日のことを、思い浮かべたことはありますか。
昭和 20 年（1945 年）8 月 6 日 午前 8 時 15 分。
この広島に人類初の原子爆弾が投下され、一瞬にして当たり前の日常が消えました。
誰なのか分からないくらい皮膚がただれた人々。
涙とともに止まらない、絶望の声。
一発の原子爆弾は、多くの命を奪い、人々の人生を変えたのです。

被爆から 80 年が経つ今、本当は辛くて、思い出したくない記憶を伝えてくださる被爆者の方々から、直接話を聞く機会は少なくなっています。
どんなに時が流れても、あの悲劇を風化させず、記録として被爆者の声を次の世代へ語り継いでいく使命が、私たちにはあります。

世界では、今もどこかで戦争が起きています。
大切な人を失い、生きることに絶望している人々がたくさんいます。

その事実を自分のこととして考え、平和について関心をもつこと。
多様性を認め、相手のことを理解しようとする事。
一人一人が相手の考えに寄り添い、思いやりの心で話し合うことができれば、傷つき、悲しい思いをする人がいなくなるはずです。
周りの人たちのために、ほんの少し行動することが、いずれ世界の平和につながるのではないのでしょうか。

One voice.

たとえ一つの声でも、学んだ事実に思いを込めて伝えれば、変化をもたらすことができるはずです。大人だけでなく、こどもである私たちも平和のために行動することができます。
あの日の出来事を、ヒロシマの歴史を、二度と繰り返さないために、私たちが、被爆者の方々の思いを語り継ぎ、一人一人の声を紡ぎながら、平和を創り上げていきます。

令和 7 年（2025 年）8 月 6 日

こども代表

広島市立皆実小学校 6 年

関口千恵璃 佐々木 駿

図書ボランティアの方々の活動 「蔵書点検」

夏休み中の8月6日に、図書室で2年に1度の蔵書点検を行いました。本校に登録されている約1万3千冊の本を、1点ずつバーコードを読み取って点検しました。

この蔵書点検にはさまざまな方が関わりました。学校司書の羽生さんと司書教諭が打ち合わせ、図書委員の生徒が1学期末に本棚の本を整理しました。事前に図書室以外の場所にある本を一旦図書室へ運び、当日は市の図書館の方と、図書ボランティアの方々が中心となって、一気にバーコードを読み取っていきました。ご協力くださった方々、ありがとうございました。こうした図書室運営を支える取組に感謝しながら、たくさん図書室を利用してほしいと思います。



花壇のお花の世話

夏休み中、学校ボランティアの方々、用務員に加えて部活動担し、当番の生徒が花壇などの水やりをしてくれました。ボランティアの方々は水やり以外の細かな手入れもしてくださり、元気に花が咲いたまま9月を迎えることができました。ありがとうございます。



外壁工事について

8月から本校の北校舎の外壁工事が始まっています。以下予定等をお知らせします。

I期 北校舎 … 令和7年8月～12月

II期 中校舎・南校舎 … 令和8年予定

- ・期間中は敷地内の一部（北側）が立入禁止となります。
- ・北校舎は足場を組むため、窓が閉め切りとなります。（換気扇を設置します）
- ・保護者会等で自転車来校時は**駐輪場所が変更**になります。→スクールメール等でお知らせします。

防災の日・防災週間

9月1日は「防災の日」です。国民が防災や災害についての知識を高めることを目的に、1960年に制定されました。この「防災の日」を含む1週間を防災週間といい、防災に関するさまざまな催しが国や全国の地方団体によって行われています。年に1度のこの機会に、災害時の被害を最小限にとどめるために日頃からできることについて、家族でも確認しておきましょう。

初動要員訓練

災害時には、緊急初動要員（市職員）が本校に参集し、緊急対応や応急活動を行います。今年度も7月に緊急初動要員訓練を行い、地域の方や本校教職員が参加して避難所開設や運営について確認しました。

災害への備えは「自助」「共助」「公助」の三つに分けられます。上記の取組は「公助」にあたります。中学生は、自らの命を自ら守る「自助」に加え、周りの生徒などを助ける「共助」についても意識し行動する段階です。学校では公助とともに、自助、共助についても引き続き指導していきます。

教員の退職と復帰について

教諭（美術科）

4月から臨時的任用教員として勤務していた

教諭が、

教諭の復帰に伴い退職しまし

た。

教諭（美術科）

育児休業でお休みしていた

教諭が9月1日に復帰しました。

秋の全国交通安全運動

・9月21日（日）から9月30日（火）まで

児童生徒等に対する交通安全教育の推進として、歩行や自転車の運転等、生徒に関連する内容もありますので、以下に抜粋し補足します。

- ・歩行中にスマホに注視することは危険です。
- ・自転車の運転時はヘルメット着用が努力義務とされています。
- ・自転車は車道の左側を通行することとなっています。
- ・自転車で歩道を通行する時には、歩行者を優先します。
- ・自転車の二人乗り及び並進は禁止です。
- ・自転車運転時に傘差し等の片手運転の禁止です。
- ・スマートフォン及びイヤホンを使用しながらの運転、夜間の無灯火走行は危険です。

※特にスマートフォンを見ながら自転車を運転する姿、イヤホンを使用しながら運転する姿、車道の右側を通行する姿は街中で見かけることが多くあります。知らず知らずのうちに交通ルールを違反したり、危険な運転をしたりすることのないよう、この機会に再度確認しましょう。

2学期開始にあたる相談先のご紹介

2学期が始まりました。登校について課題を抱えていたり不安や悩みがあったりする場合は、いつでも学校で相談ができますが、学校外にも相談先があります。新たな相談先2か所をご紹介します。

【小平市教育相談室 土曜電話相談】

新学期開始に伴う不安、いじめや不登校に関することを電話で相談できます。

※9月13日（土）午前9時から午後4時30分まで 042（343）9411

【こどもの人権 SOS チャット】

法務省の人権擁護機関が運用する、チャット形式による人権相談です。（平日 午前8時30分から午後5時15分まで）



2学期もよろしくお祈いします。